

# 4・5月の主な行事



4月

1日(土)～10日(月) 年度始休業

6日(木) Jueves Santo  
7日(金) Viernes Santo  
8日(土) Sábado Santo

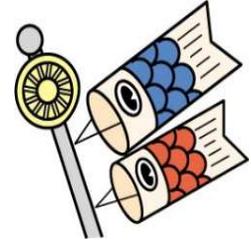
- 11日(火) 着任式、始業式、転入生を迎える会
- 12日(水) 身体測定、委員会活動
- 17日(月) 学校開放(平日)開始
- 18日(火) 音楽集会、避難訓練
- 19日(水) クラブ活動
- 22日(土) 授業参観、学校経営説明会  
PTA総会、新派遣者歓迎会
- 24日(月) 振替休業
- 25日(火) 全校遠足 ～28日NRT実施週間
- 27日(木) 音楽集会
- 28日(金) 全校遠足予備日



5月

1日(月) Dia del Trabajo  
2日(火) 全校朝会  
～5日学級懇談週間  
3日(水) 委員会活動  
4日(木) 季節集会(鯉のぼり)

- 6日(土) 学校開放(土曜)開始
- 8日(月) 避難訓練
- 11日(木) 音楽集会
- 16日(火) 写生会
- 17日(水) クラブ活動
- 23日(火) 写生会予備日
- 30日(火) 音楽集会
- 31日(水) クラブ活動



## 入学・進級おめでとう

転入生 1名を迎え児童生徒 13名での令和5年度がスタートしました。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計	
男	0	1	2	0	1	1	1	0	1	7	
女	0	1	2	1	1	1	0	0	0	6	
計	0	2	4	1	2	2	1	0	1	13	
担任	小野寺 光里		関 美和子		立山 佳史		渡辺 泰生				
主な校務分掌	学習主任		特別活動主任		生活指導主任		教務主任				
校長	宗像 玲		教頭	岡部耕二							
現地職員・講師	秘書 Maribel de Mejia		用務員 Eladio Moreno		スペイン語・書写講師 澤田 千賀子						
	スペイン語講師 Carmen Valencia		英会動講師 Stephanie Pinzon								

昨年度末にPTAより清掃用具、足拭きマット等をご寄贈いただきました。ありがとうございました。



### ようこそパナマ日本人学校へ

KMさん  
(2年)



関美和子先生

Carmen Valencia 先生



Stephanie Pinzon 先生



## NRT(Norm Referenced Test)って何？

学習指導要領に準拠した内容で、全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握するための検査です。結果を学習指導の改善に役立てていきます。

4月25日～4月28日に各クラスで実施日を設け、小学部・中1は国語・算数、中3は国語・社会・数学・理科・英語を実施します。後日コンピュータ採点の結果をお知らせしますが、検査の性質上問題を配付することはできません。

『学校だより』令和5年度4月号

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 FAX: 264-4751

E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp

<http://panama.lolipop.jp/>

在籍数

小学部 11名

中学部 2名

合計 13名



## 校歌の歌詞に込められた願い

校長 宗像 玲

2023年度（令和5年度）第1学期が今日から始まります。小学部は転入児童1名を迎え11名、中学部は新入学生徒を含め2名、合計13名でのスタートとなりました。

本校では年度が新しくなっても環境の変化が少ないことは否めませんが、学年が変わり登校してくる児童生徒たちの心の中には、新しい目標が掲げられ、新しいことにチャレンジしようという意欲が満ちていると思います。本年度も、子どもたちが様々な経験をしながら、学びを広げ、自己実現を重ねていけるように教職員一同努めてまいりますので、保護者の皆様、日本人会の皆様にも引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この青い大空のもと 豊かな緑は 心の大地 世界の友と スクラム組んで  
希望の明日へ はばたこう

この広い海原のもと 海の青さは 我らが生命 ふくらむ夢を 潮風にのせ  
ともに学ぼう 未来のために

この輝く 太陽のもと 強く正しく 明るく生きる 平和のかけ橋を 築かんと  
学ぶ我らに 誇りあり

子どもたちがいつも式などで歌う校歌の歌詞は、学校が創設されて間もなく（1981年）日本人会に公募されました。最終審査に残った3つの作品の中からこの歌詞が選ばれ、曲がつけられました。作詞・作曲とも当時の保護者の方の作品ですが、パナマ日本人学校で学ぶ子どもたちに、こんなふうに学んで欲しい、育てて欲しいという願いが込められていることを強く感じることができます。

さらに、その当時からの古い資料に目を通してみると、日本から遠く離れたこの地に、このパナマ日本人学校が創設された時の苦労や、それから10年、20年、30年、40年と歩みを重ねてくる中で、日本人会や保護者の方々、日本から派遣された先生方、そして在籍した子どもたちが、いろいろなことに協力し、取り組みながらバトンをつないでこられたことがわかります。

新しい年度を迎え、改めて、今私たちがパナマ日本人学校の伝統を継承するとともに、新たな時代に向けての1ページをつくる当事者である責任を自覚し、子どもたちの成長に寄り添いながら、よりよい教育活動の実現を目指していきたいと考えています。

日本人会の皆様、保護者の皆様のご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



転入生を迎える会